



新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

Faculty of
Law
Niigata
University
Faculty Guide 2027

新潟大学

法学部

学部案内 2027

判

法学部の歩み

- 1949** (昭和24) 「人文学部社会科学科(法律学専攻)」として発足
- 1965** (昭和40) 「人文学部法学科」に改組
- 1967** (昭和42) **新潟大学法学会を結成**
法学科の独立に伴い、新潟大学法学会を結成
活発な研究活動を行うとともに、研究成果を発表する機関誌として「法政理論」を発刊
- 1972** (昭和47) **学部校舎が旭町より五十嵐キャンパスに移転**
- 1975** (昭和50) **大学院法学研究科の設置**
広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養う
- 1977** (昭和52) 「人文学部」から「法文学部」へと改称
- 1980** (昭和55) 「法文学部」を改組し、「法学部法学科」を創設
- 1988** (昭和63) **中国引揚者等子女特別選抜制度を全国に先駆けて導入**
- 1994** (平成6) **法政コミュニケーション学科の新設**
国際取引上の紛争解決に対応することができる高度の能力を身につけた人材養成を行うための組織として、「法政コミュニケーション学科」を新設(2004年度に法学部法学科、法政コミュニケーション学科を改組し、法学科を設置)
- 社会人教育を目的とした夜間主コースの設置**
生涯教育の充実という社会のニーズに対応するために、社会人学生向けの一種の履修コースを設ける(2004年度に募集停止)
- 2004** (平成16) **大学院実務法学研究科(法科大学院)の設置**
21世紀の司法を支えるのに相応しい能力・資質を備え、地域住民の信頼と期待にも応え得るような法曹を養成するための高度専門教育を行う(2015年度に募集停止)
- 新カリキュラムの導入**
学修の指針を示すコア・カリキュラム制を採用
学生定員を削減し、2学科5講座制から1学科3講座制に再編成
法学科：企業法務講座／行政法務講座／国際法講座
2006年度に、全学生を対象とした「法学プログラム」による履修体制を導入
- 2019** (平成31) **法曹養成プログラム(法曹コース)の設置**
慶應義塾大学、中央大学、東北大学、神戸大学の法科大学院と連携した、法曹(裁判官、検察官、弁護士)志望者向けの「法曹養成プログラム」を設置

人生を拓く学び

新潟大学法学部長

上村 都

UEMURA Miyako

三重県生まれ。専攻は憲法学。
岩手大学を経て、2009年に新潟大学に赴任。
2023年4月より法学部長。



友達と夏休みに旅行に行くとしたします。海に行きたい人、山に行きたい人、西がいい人、東がいい人など、意見が一致しません。あなたならどうやって行き先を決めますか？ジャンケン、くじ引きもありますが、わたしたちの社会では、重要なことは多数決で決めるのが普通です。法律は議員の多数決で議決されますし、判決も、裁判官の多数決で決まります。

では、多数決とはどのような方法でしょう。多数決は、「半数プラス1人」とは限りません。例えば、憲法改正の発議は、衆参それぞれで総議員の3分の2の賛成が必要です。そのほかにも、憲法には「3分の2以上の多数」と書かれた条文がいくつかあります。なぜでしょう。

裁判も、単純な過半数によるとは限りません。日本では裁判官の過半数(最高裁大法廷なら15人中の8人以上の裁判官、小法廷なら5人中の3人以上の裁判官)で裁判が決まりますが、ドイツの連邦憲法裁判所は、そもそも裁判官の数が偶数の8人です(4人対4人なら合憲、5人以上が違憲の場合にのみ違憲)。韓国の憲法裁判所の裁判官は9

人ですが、法律を違憲にするには6人以上の裁判官が賛成しなくてはなりません(5人が違憲、4人が合憲なら合憲)。なぜでしょう。

なぜ…と疑問に思うこと。それが大学での学びの第一歩です。そして、政治や裁判においては、対立する主張の両方にそれなりの論拠があり、真実があります。法を学ぶということは、対立する主張に耳を傾け、それぞれの論拠を比較し、考量することにほかなりません。なぜ憲法や法律ではそのようなルールになっているのか、なぜ原告はどのような主張をするのか、これらのなぜ?により、奥深い社会科学の世界の扉が開かれます。新潟大学法学部には、疑問を発見し、考え、議論するためのさまざまな資料、教員、ゼミやクラスの仲間がそろっています。さまざまなことに興味を持ち、論理的でバランスの取れた判断能力を身につけてください。

なお、多数決ですが、ユダヤには「全員一致は無効」という考え方があるとされます。なぜ無効なのでしょう?考えてみてください。

学びの特徴

「2つのプログラム」

新潟大学法学部では、学生の皆さんの進路選択に役立ててもらうため、2つのプログラムを用意しています。

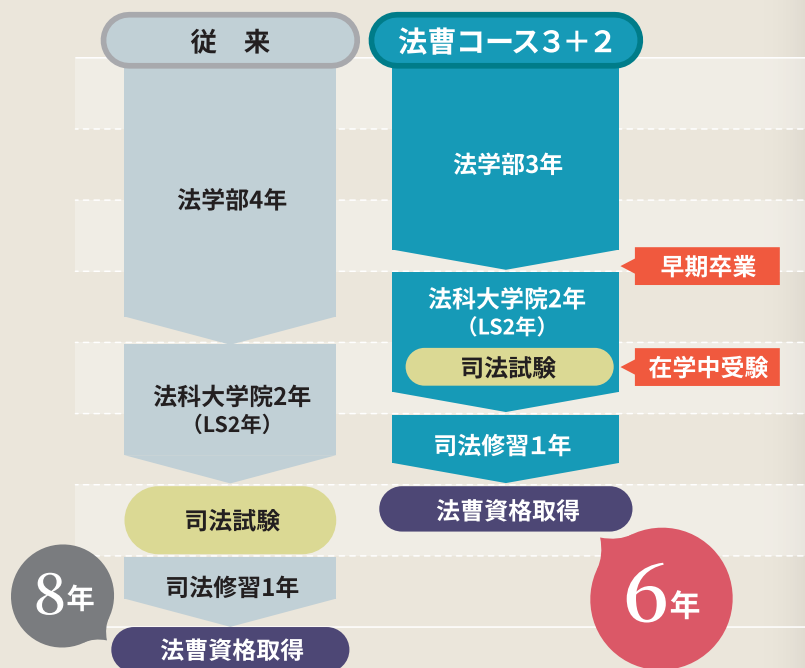
法学プログラム

このプログラムは、法律に関心があるという人や、行政の背景にある様々な考え方に詳しい公務員になりたい人、契約のルールなどについて体系的な知識をもって民間企業に就職したいという人のための課程です。新潟大学法学部は、これまで、官公庁や民間企業等に多数の人材を輩出してきました。また、大学院へ進学し、さらに学びを深める卒業生もいます。

法曹養成プログラム(法曹コース)

このプログラムは、「法曹(裁判官・検察官・弁護士)になりたい」という明確な目的意識を持つ学生のための課程です。この課程では、「法曹」との関連が深い科目を集中的に学修することができます。また、この課程では、1年次から法学の専門的な学修を開始することができ、成績優秀な学生には、5年一貫型選抜制度を利用して、新潟大学法学部が連携協定を結んでいる慶應義塾大学大学院法務研究科、中央大学大学院法務研究科、東北大学大学院法学研究科、神戸大学大学院法学研究科に進学する途が開けています。

法曹コースなら、
入学後最短 **5** 年で司法試験受験
6 年で法曹資格取得が可能に！



※上記の他に、司法試験受験資格を得られる制度として法科大学院に3年通う制度や、司法試験予備試験もあります。本学法学部在学中に予備試験に合格し、早期卒業の上、同年中に司法試験に最終合格された方もいます(法曹資格取得まで約5年)。



渡辺 英恵

WATANABE Hanae

神戸大学法科大学院進学
2026年3月早期卒業
(2026年進学)

私は、法曹養成プログラムの早期卒業制度を利用し、2026年4月に神戸大学法科大学院に進学する運びとなりました。

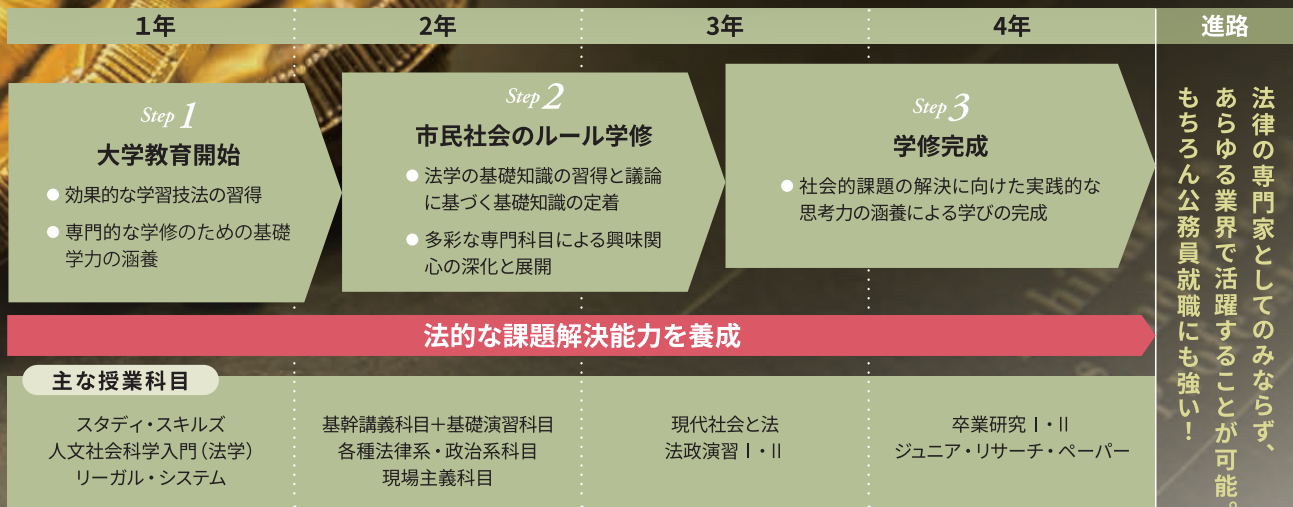
私は入学当初から法曹を志していたわけではありませんが、法曹コースの大きな魅力の一つである「1年次から基本7法科目を履修できること」が、将来の選択肢を広げるきっかけとなりました。早い段階から専門科目を学ぶことで、法学の奥深さに触れ、気づけばその世界に引き込まれていたのです。学びを重ねる中で自らの興味関心が鮮明となり、専門性を追求することが楽しく感じられ、法曹を目指す強い意志が芽生えました。

多くの困難が伴いますが、その中で受けられるサポートも非常に充実しています。進路や学習に関する不安を抱えた際には先生方が親身に相談に乗ってくださり、大きな支えとなりました。

新潟大学法学部には、法曹を目指すための充実した環境が整っています。ここからあなたも新たな一歩を踏み出してみませんか。

[3つの学修ステップ]

下記のカリキュラムによって、効率的に4年間の学修を進め、卒業後の進路選択に必要な能力を身につけることができます。



[少人数教育]

新潟大学法学部では、各学年に応じて、一人の教員がそれぞれ10人程度の学生をきめ細やかに指導する少人数教育を実施しています。1年次の「スタディ・スキルズ」、2年次の「基礎演習」のほか、3年次に「法政演習Ⅰ・Ⅱ」、4年次に「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」が用意されています。教員と学生との距離が近づくため、学びの幅が広がるのみならず、人間形成の一環としても重要な位置づけを有しています。

教員一覧

氏 名	職 位	専 門	研究テーマ
李 秉 哲	助 教	日本外交史・アジア政治外交史	東アジアにおける政治・国際関係の変容と日本の外交、日米韓関係
稲 田 隆 司	教 授	刑事訴訟法	被疑者取調べ、自白法則
稲 吉 晃	教 授	日本政治史	社会インフラ整備と政治
今 本 啓 介	教 授	租税法・行政法	少子高齢化社会における地方自治・地方財政
岩 寄 勝 成	准 教 授	民法	不法行為法の責任分配制度における分配的正義と功利主義との関係
上 村 都 都	教 授	憲法	表現の自由と人格権の調整
内 田 千 秋	教 授	商法・会社法	判断能力不十分者と商法・会社法、法定監査制度、サステナビリティ
上 山 泰	教 授	民法・医事法	判断能力の不十分な成年者の民法上の位置づけの再構成
河 野 志 穂	助 教	教育社会学	学校教育の職業的レリバンス
神 田 豊 隆	教 授	日本外交史・国際政治史	第二次世界大戦後の日本外交
木 南 直 之	准 教 授	労働法	労使関係法制の再構築
喜 友 名 菜 織	准 教 授	民法・家族法	未成年養子制度における子の福祉
近 藤 明 彦	教 授	民事法	民事紛争の解決における民法の機能
酒 巻 雄 司	助 教	会社法	上場会社の取締役会において社外取締役が担うべき役割
櫻 井 香 子	准 教 授	刑事法実務	弁護士による犯罪被害者支援
篠 原 淳 一	准 教 授	民法	公共性の高い施設の差止等請求
春 藤 優	助 教	ジェンダーと法	「中絶の権利」とジェンダー平等
白 川 展 之	准 教 授	行政学・公共政策	科学技術・イノベーション政策、未来洞察・評価とガバナンス
須 川 賢 洋	助 教	情報法	インターネットや先端技術によって生じる法律問題や情報セキュリティ
鈴 木 正 朝	教 授	情報法	行政情報法、個人データ保護法、プライバシー権、医療データ法、AI 法
田 寺 さ お り	准 教 授	刑法	経済活動に対する刑事規制の在り方
田 中 伸 至	教 授	社会保障法・医療保障法	日本とドイツの医療制度の構造と医療連携体制や医療の質との関係
田 中 幸 弘	教 授	民法・消費者法・企業法務	企業の内部統制と民法・消費者法・金融関係の特別法の法的枠組みの研究
根 巻 帝 子	教 授	法社会学	兄弟姉妹の法律関係と実際の関係性に関する日英比較研究
根 津 洸 希	講 師	刑法・生命倫理・法哲学	刑罰論・責任論・先端技術と法
馬 場 健	教 授	行政学	19世紀イギリスを事例とした都市の形成と行政機能の拡大についての研究
林 湜 起	准 教 授	民法	民法上の権利に関する帰属及び変動の法的構造
益 田 高 成	准 教 授	政治過程論	選挙法改正をめぐる政治過程
宮 森 征 司	准 教 授	行政法	公私協働事業のガバナンス、公法私法論
盛 永 悠 太	准 教 授	憲法	日本国憲法第23条、学問の自由、英米のAcademic Freedom
吉 川 聡 美	講 師	行政法	第三者評価制度の行政法学的分析
渡 辺 豊	教 授	国際法	国際社会における人権保障体制

学びの特徴

「現場主義」

新潟大学法学部は、各界の第一線で活躍されている方々をお招きし、講義室に「現場」を取り入れるユニークな授業を行っており、インターンシップ等と併せて「現場主義」を実現しています。特定の分野にスポットを当てて現場を学ぶ「司法書士と法」「新潟市の行政」のほか、多様な分野の講師による「賢人会議」があり、いずれも人気の講義です。講師の先生の中には、新潟大学法学部の卒業生もあり、自分の将来を具体的に考えるきっかけとなっています。

賢人会議

様々な分野で活躍する「賢人」を招き、大学の教室にいながら、実社会について学びます。仕事内容や経験談を賢人から直接聞くことで、進路についての関心や学修へのインセンティブを高めます。

講師：三条市副市長
上田泰成様



2025年度「賢人会議」講師（出講順、敬称略、肩書は当時のもの）

吉塚 康一（株式会社キュリエ代表取締役）

上田 泰成（三条市副市長）

内田 博久（新潟家庭裁判所長）

福島 悠貴（HOUSEI株式会社管理本部）

柏木 郁文（財務省理財局国庫課課長補佐）

山岡 克則（みずほフィナンシャルグループ
サステナブルプロダクツ部グローバル環境室室長）

寺崎 琴文（置賜広域病院企業団（公立置賜総合病院）事務局長）

岩崎 倫之（クレアトゥラ株式会社海外事業開発部
Chief Project Development Officer兼海外事業開発部長）

小段 雄三（防衛省自衛隊新潟地方協力本部長）

柝倉 信（最高裁判所司法研修所検察教官室教官（東京地方検察庁検事））

原島 一郎（最高裁判所司法研修所検察教官室教官（東京地方検察庁検事））

山岡 智幸（株式会社あおぞら銀行国際業務部部長）

今井 望喜（新潟県農林水産部食品・流通課販売戦略班（食品産業担当）主事）

浅岡 孝充（デジタル庁（兼内閣官房）戦略組織
グループ総括（特命）参事官（兼地方創生支援官（宮崎県西米良村担当）））

宮越 桃子（新潟市議会事務局議事課主査）

木部 亮平（新潟市福祉部障がい福祉課主事）

新潟市の行政

新潟市役所に勤務する現場経験豊富な職員が、行政サービスの提供における諸課題や政策形成の過程、法執行の現実などについてオムニバスで講義を行います。新潟市における行政の「現場」の話を聞く機会を通じて、地方自治に関する理解と知見を広めて、地方行政に関する問題意識を持つようになることを目的としています。



講師：新潟市福祉部の皆様

インターンシップ

将来の職業選択の参考とするため、様々な業界の現場において1～4週間 にわたって就業体験を行う、「現場主義」を体現した科目です。

1997年に国立大学の法学部では初めて正規科目として「インターンシップ・プログラム」を導入して以来、実習先は、例年、金融・メーカー・サービス業・官公庁と多岐にわたります。「働くこと」と「学ぶこと」の意義を再確認し、就職活動へのモチベーションを上げる絶好の機会となっています。

主な2025年度インターンシップ受け入れ先

新潟労働局、新潟県、福島県、山形県、群馬県、新潟市、会津若松市、宇都宮市、日本生命保険相互株式会社新潟支社、株式会社第四北越銀行、弁護士法人青山法律事務所

地域政策協働センター（GPNet）

地域政策協働センター長・教授 今本 啓介

地域政策協働センター（GPNet）は、地方公共団体、企業、金融機関など地域の関係機関と連携・協働し、地域の課題解決のために地域政策に関する調査・研究を行うとともに、学生の地域活動への参加のための受け皿としての役割を担っています。

現在学生が主体となって燕市の空き家活用事業に参加している他、Niigata選挙カレッジとともに地方若手議員との意見交換会を行うなど、学生に主体的に地域活動に参加する機会を提供しています。また、卒業生との交流も目的に、地域政策をテーマにした研究会を開催し、研究と卒業生の携わる実務との橋渡しも行っています。

GPNetでの活動に携わった学生は、地域の課題解決の難しさを目の当たりにしつつも、積極的に地域住民に働きかけを行う経験をしてきたことが評価され、これまでも卒業後多くの学生が県庁や市役所などで活躍しています。特に、地域活動や地方創生に関心のあるみなさんは、ぜひ入学後GPNetの提供する活動に参加することをお勧めします。

特別研究会 田村秀長野県立大教授
「2040年の大学像を展望する」の様子。
聴講生の中には卒業生もあり、このように卒業生との交流も積極的に図っています。



学生団体の紹介

法律相談部 代表 高橋 麗

法律相談部では、年に2回(7月・11月)、無料の法律相談会を実施しています。市民の皆さんが直面した様々なトラブル(損害賠償や相続など)について聴き取りを行いながら、その相談内容に寄り添った回答を行っています。身近なトラブルの解決策を法律の条文から探っていくことには困難を伴うこともありますが、しかし相談会後に「悩みが解消した」など温かなお言葉をいただいた時には、喜びもひとしおです。

加えて、部内では活動の一環として相談への回答に役立つ勉強会を開催しています。法律の知識に不安があっても、部員達と一緒に楽しく学んでいくことが可能です。

「法律の勉強に役立ちそう」「法学部の同級生・先輩と仲良くなりたい」、「講義で学んだ法律の知識を誰かのために使ってみたい」など……。少しでも興味をお持ちになった方は、ぜひ法律相談部へお越しください!



法学ゼミナール協議会 代表 金子 史彦

私たち法学ゼミナール協議会(通称法ゼミ協)は法学部の生徒会のような団体で、大学生活を盛り上げるためのお手伝いをしています。例えば、新入生交流会を主催したり、ゼミ対抗スポーツ大会を開催したりしています。近年は活動の幅を広げており、2年生向けにゼミを紹介するイベントや3年生向けの就活支援イベントも開催しています。

新入生の皆さんと最初に関わるのは、私たちが発行している機関誌『法紀』の配布の際だと思います。『法紀』には評価が高かったジュニア・リサーチ・ペーパーやインターンシップ体験談、各公認団体の具体的な紹介などが記載されており、大学生活の見通しを立てる上で役立つとの評判を頂いております。

自論ですが、大学生活は多様な人と出会うことでより楽しくなるものです。あなたに刺激を与える人物と出会える場を私たちは提供し続けます。



司法研究会 代表 小泉 陽太

司法研究会は、法曹を志す学生が自主的に集まり活動する、法学部公認の団体です。活動の中心は、2年生による講義を通じた「インプット」と、1・2年生が協力して起案を行う「アウトプット」です。受け身の学びを、自ら講義し、議論し、起案する主体的な学びへと発展させることで、法律学の趣旨や意義への理解を深め、興味関心をさらに広げることができます。また、司法研究会では在学中の先輩はもちろん、大学院生や司法試験合格者を含むOB・OGとも交流が可能です。法曹を目指す仲間と切磋琢磨し、多くの先輩方から学べる強いつながりは、司法研究会ならではの大きな魅力です。

法曹への道は決して平坦ではありません。しかし、志を同じくする仲間とともに学び合い、支え合う環境がここにはあります。私たちと一緒に、司法研究会でその一歩を踏み出してみませんか。



PUB-Lab 代表 大平 裕翔

PUB-Labは、法が実社会でどのように生きているのかを体感することを目的として、公共施設への見学など、現場での学びを中心に活動を行っている学生団体です。

これまでに、裁判所、検察庁、刑務所などの司法・刑事制度を運用している施設や、省庁やインフラ施設などの行政・公共サービス運営している施設を見学してきました。このほか、法律実務家の方をお招きした講演会を開催しました。普段の講義で学ぶ法の理論を「現場」に足を運び、体得することで、法をより深く理解し、その面白さを実感することができます。見学参加者からは、「教科書で学ぶ規範と現場の実務の違いを感じた」、「実務の難しさや面白さが分かった」等の感想が寄せられました。

私たちと一緒に社会に生きる法を学びませんか?

新潟大学法学部でぜひお待ちしております!

ゼミ紹介

近藤ゼミ — 民法法

民事裁判を通じて、
生きた法律の姿を学ぶ近藤 明彦 *KONDO Akibiko* 教授

—ゼミの活動についてご紹介をお願いします。

契約に関する紛争や交通事故などの具体的な民事裁判において、原告と被告は、自らの言い分を、民法などの法律に基づき、どのように主張し立証していくのか。裁判官は、その両者の言い分をどのように整理し、評価して、解決していくのか。私が実務家（弁護士）として経験してきた具体的な事件を題材にして、グループで検討して報告してもらい、ディスカッションをしながら、法的に妥当な解決を模索し、学習を深めていきます。

—ゼミ生に期待することを教えてください。

法律の制度や解釈に関する基本的な理解はもちろん大事ですが、法を実社会で活用し、紛争を解決に導くことにこそ、法の究極の目的があるといえます。裁判事例を取り扱うことは学生にとっては難しい面もありますが、それに挑み、乗り越えることにより、生き生きとした法律の姿を知り、法律の勉強の楽しさを知ってほしいと願っています。

—受験生の皆さんに「一言」をお願いします。

法学部では3年生以降必ずゼミに所属することとされています。法学部生にとってゼミでの活動は深い学びを得る機会であるとともに、ゼミ活動にとどまらないかけがえのない友人と出会う機会となっています。共に学び、共に語り合える仲間がたくさん待っています。新潟大学法学部のゼミでの活動はきっと皆さんの大学生生活を豊かなものとしてくれるはずです。



近藤ゼミ

金子 史彦 *KANEKO Fumibiko* 法学部4年

—ゼミを選んだ理由を教えてください。

特定の事実を法律の言葉に直す技能を身につけたく、民法法ゼミを選びました。日常的な言葉・現象を法的な主張に結びつける力こそが法学部で得られる最大の力であると私は考えています。その点、具体的に複雑な事実関係の中で法的な主張を組み上げる練習ができる民法法ゼミが、私の欲しい力を得るために最良の場であると感じたのです。

—ゼミで印象に残っている体験や学びについて教えてください。

ゼミを選択した直感は正しかったと断言できます。ゼミを通して自分の力が高められていることを実感しているからです。

例えば、保険金を使い込まれてしまい、修繕代金を支払ってもらえないという事案では、注目する事実に応じて5つを超える様々な法的な主張（法律構成と呼ばれます）を考えることができました。他の学生と事案について議論を進め先生から指導を受ける中で、このように具体的な事実を様々な法的な文脈で捉える力が向上していることを実感しています。

—受験生の皆さんに「一言」をお願いします。

「50倍」。受験生の皆様、法律の議論は皆様が思ってる50倍は面白いですよ。

家族のあり方を支える法の課題と 展望について考える

喜友名 菜織 KIYUNA Naori 准教授

——ゼミの活動についてご紹介をお願いします。

民法のなかでも家族法分野を中心に、実際の紛争における法の具体的な適用についての理解を深めることを目的に、判例報告を行ってもらっています。また、司法判断から見えてくる家族をめぐる現代的な課題や、その解決の方向性を多角的に検討するために、ディスカッションも取り入れています。

——ゼミ生に期待することを教えてください。

判例や学説によって示された法的枠組みに基づいて論理的に検討することはもちろん重要ですが、与えられた枠組みそのものを、対話を通じて見つめ直す姿勢を養うことも大切だと考えます。当時の社会状況や現代の家族が直面している課題に、法はどのように応えてきたのでしょうか。社会的に弱い立場に置かれた人々の存在や声は、法制度に十分に反映されているのでしょうか。家族法を手がかりに、法の社会的意義について共に探究していきたいと考えています。



——受験生の皆さんに「一言」をお願いします。

自分の適性について思い悩む日もあるかもしれません。大学での様々な学問や人々との出会いは、皆さんの可能性を大きく広げてくれるはずです。思いがけない新しい発見や選択肢が、きっと皆さんを待っています。

喜友名ゼミ

河井 佑太 KAWAI Yuta 法学部4年

——ゼミを選んだ理由を教えてください。

家族法は、ゆりかごから墓場まで、人の一生に関わる法分野であり、人生のあらゆる場面で人と人との関係を支えています。そうした、人生と深く結びついた法学を学べる点に魅力を感じ、このゼミを選びました。

——ゼミで印象に残っている体験や学びについて教えてください。

日々の発表です。家族法は、非常に身近な法分野であるがゆえに感情的に語られてしまいがちです。その中で、どのような法的アプローチが可能かを論理的に考え、議論する必要があります。「選択的夫婦別姓制度」や「同性婚」等について、学問的な視点から

学びを深めていく過程はとても印象的であり、このゼミの魅力の一つだと思います。

——受験生の皆さんに「一言」をお願いします。

ゼミでは、結婚や親子といった身近なテーマを法律の視点から主体的に学んでいます。仲間と討論を重ねる中で、多様な価値観に触れ、視野が広がっていくのを日々実感しています。大学には、自分を成長させてくれる出会いや学びがたくさんあります。ぜひその一步を踏み出せるよう、頑張ってください。

学外・海外に広がる学び

新潟大学法学部では、学生が卒業後に国際社会と地域社会にまたがって活躍できるように、学外・海外との広範な交流を通じて広く学ぶことのできるさまざまなプログラムを提供しています。自分自身の能力や目標に応じて、最適なプログラムを体験することができます。

TOPIC
1

全国フォーラムで自主研究の成果を発表する



2025年度大会報告者：金子史彦さん

法学部「経済法Ⅰ・Ⅱ」講義を履修し、優れたレポートを提出した場合、担当教員の助言を受けて内容をさらに修正し、毎年開催される「全国法学部経済法研究フォーラム」に応募することができます。実行委員会による選考を経て採択されると、フォーラム会場で研究成果を報告する機会が得られるほか、著名な経済法研究者、公正取引委員会の関係者、弁護士、他大学の学生たちなど、多くの来場者と交流を深めることも可能です。

TOPIC
2

留学生・外国人教員とともに法学・政治学を学ぶ

新潟にいながら、留学生とともに、英語で法学・政治学を学ぶことのできる科目を提供しています。日本語による類似の専門科目と併せて履修することで、効果的な学習が期待できます。海外への本格的な留学に向けた事前対策として、また留学後のフォローアップとして活用している学生もいます。

【開講科目例】 Introduction to Japanese Law、Introduction to Japanese Politics and Diplomacy、Comparative Constitutional Law、East Asian Studies、Japanese Family Law and Societyなど。

協定校であるドイツ・ミュンスター大学、中国・北京大学などから外国人教員を招聘し、講義を提供しています。新潟にいながら、各国の「法律と政治の現在」について学ぶことができます。

【開講科目例】 Introduction to Western Legal System、中国外交入門、中国外交基礎、中国政治入門など。



TOPIC
3

海外の連携大学との合同授業に参加する



協定校である韓国・仁荷大学と連携して、「国際交流（気候変動と法・政治）」という合同授業を提供しています。本授業は主に、本学学生と韓国学生がチームを組み、気候変動への対策について各自の関心ある課題を選び、オンラインで自主的な研究と交流を行い、その成果を英語で発表するものです。成果発表会の前後に、新潟の歴史に関する講義や、新潟市役所・新潟地方気象台などへの見学が行われます。その後、韓国に訪問してさらなる交流イベントに参加する機会もあります。

本授業に参加した学生の声は、右のページでご覧いただけます。

TOPIC
4

海外の交流協定校に留学する

新潟大学と海外の協定校との間で結ばれている交流協定に基づいて留学する制度があります。そのうち、「学生交換協定に基づく留学」の場合は、新潟大学法学部に在学したまま、半年または1年間協定校で学ぶことになります。留学先の大学との単位互換がなされますので、留学期間を含めて4年で卒業することも可能です。

交換留学を希望する学生は、学内選考および協定校による選考を経て、協定校へ派遣されます。留学期間は本学の修業年限に算入され、「授業料不徴収」協定が結ばれている場合、本学に授業料を納めれば、協定校への授業料を支払う必要がありません。

主要な協定校の紹介、及び交換留学に参加した学生の声は、右のページでご覧いただけます。



ミュンスター大学(ドイツ)

ミュンスター大学は、北ドイツの西部(オランダとの国境の近く)の町、ミュンスターにある、ノルトライン・ヴェストファーレン州の州立大学である。現在の法学部学生総数は約6千人で、本学部とは1998年に学生交換協定を締結した。



ナント大学(フランス)

フランスで有数の規模を誇る総合大学であり留学生も多い。新潟の姉妹都市であり、フランス人から「住みたい街」に選ばれる文化都市ナントに位置する。2018年に法学部間交流協定が結ばれ、活発な交流が始まっている。

仁荷大学(韓国)

仁川特別市に位置する名門の総合大学であり、1954年に創立された。仁川には国際空港が位置するほか、仁川からの港湾都市であり、海に近い風光明媚なキャンパスを有している。社会科学学院政治外交学科と緊密な交流を続けてきた。



アルバータ大学(カナダ)

1908年に創立され、首相も数多く輩出している名門の州立総合大学。カナダ中西部に位置し、雄大な自然の中で快適な学生生活を実現できる。学生は3万7千人、留学生は4千人を超える、カナダで2番目に大きな大学である。



北京大学(中国)

1898年に創立された中国初の国立総合大学であり、文系・理系を問わず世界トップの実力を誇り、大学入試の成績最優秀者の進学先として知られている。世界遺産に囲まれて歴史的な雰囲気漂うキャンパスを有するとともに、国際的に最先端の教育環境が整えられている。



中国人民大学(中国)

1949年に正式に創立された、人文科学・社会科学を中心とする名門総合大学である。特に法学・政治学・経済学・社会学などの分野で高い評価を受けている。首都・北京市に位置し、国際的にも優れた学術ネットワークを有し、著名な法律家や政治家を多く輩出している。



外交学院(中国)

中国外務省が所轄する唯一の大学である。1955年に設立され、建学当初は外交官の養成機関とされたが、今日でも国際交流に携わる人材を多方面にわたって輩出している。入学難易度は全国トップクラスに位置する重点大学の上位校と肩を並べる。

「国際交流に参加したい後輩へのメッセージ」

井川 ひなた IGAWA Hinata 法学部3年 韓国・仁荷大学に短期訪問

9月の訪韓では、仁荷大学の学生との交流だけでなく、韓国の社会や文化を体験しつつ環境問題への理解を深める貴重な機会となりました。気候変動に関する国際学術大会で各国の研究者が持続可能な社会の在り方を真摯に議論する場に出席し、国際的課題を共有し解決を模索する営みの重要性を実感しました。ソウル新活用プラザなど現地の環境関連施設も見学し、資源循環や持続可能性の具体的な取り組みを知ることができました。さらに仁川開港博物館や大韓民国歴史博物館などを巡り、その歴史や文化から日韓交流の背景をより深く学びました。文化を共有し国を超えた友情も育むことができ、国際交流は言語の壁を超えて人と人を繋ぐ力を持つことを改めて感じました。過ごした時間は忘れがたい経験となり、自らの目で見えて心で感じた体験、学び、そして築かれた絆は今後の人生において何にも代えがたい財産となると確信しています。



下長根 一美 SHIMONAGANE Kazumi 法学部3年 中国・北京大学に交換留学

私が北京大学への留学を志した理由は、自分自身が中国にルーツをもっていたからです。世界的に有名な大学に行けることを誇らしく思うと同時に、周りについていけるのだろうかという不安も抱えつつ中国に渡りました。

私は国際関係学院という学部で、現地の学部生たちと一緒に授業を受けていました。国際関係学院に所属する学生は4割が外国人ですが、彼らは語学力が非常に高く、専門的な知識も豊富でした。そのため、留学当初は彼らと比較して落ち込むことも多くありました。

そこで、私は周りの学生に積極的に声をかけるなど、交流の機会を増やすことに尽力しました。初回の授業で自分から声をかけた隣の生徒は、今でも一番仲のいい友達です。正直私は、積極的に挑戦する性格ではありません。しかし、今回の留学を通して、確かな成長を感じています。留学という選択には勇気が伴いますが、ぜひ自分の可能性を広げてみませんか？



学生が語る！

法学部生のリアル



一日の流れ

朝

通学

1～2限

昼

昼休み

通学

1限におくれるな！

Q:通学時間はどのぐらい？

A:大学近くには学生向けのアパートがたくさんあり、多くの学生が住んでいます。そのため、大学の近くに住む学生は、歩いて約5～10分ほどで大学に着きます。また、実家から通学している学生もいますが、中には1～2時間ほどかかる人もいます。



内山 七海さん
新潟県
長岡高等学校出身

授業

法学部生は六法が相棒！

Q:大学の授業はどんな感じ？

A:大学の授業は1コマ90分・専門科目は2コマ連続で、大人数授業が多いです。また、少人数授業も開講されています。先生や受講生との距離が近いので、友達を作りやすく、先生にも質問しやすい環境になっています！



谷村 宇海さん
北海道
札幌北高等学校出身

利便性バグン！

大学生の生活圏

大学周辺にはスーパー、ドラッグストア、コンビニといった日用品を扱う店舗が充実しており、必要な買い物はほとんど大学周辺で済ませることができます！
ほかにもラーメン店、居酒屋といった飲食店、カフェ、郵便局、病院等があります！



コンビニ



スーパー



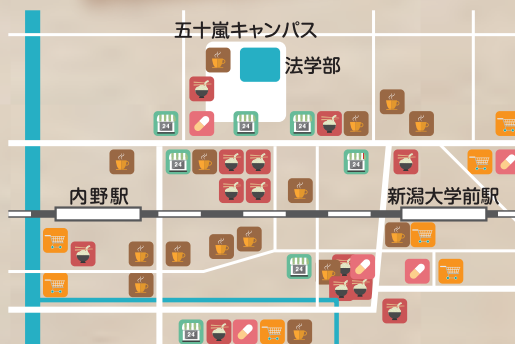
ドラッグストア



カフェ



ラーメン店



上村 穂里さん
新潟県・新潟江南高等学校出身



私たちが作った学部紹介動画で
詳しい情報をチェックしてね!!



3～4限

タ

ゼミ(3年～)・アルバイトなど

ランチ



Q:ランチはどこで食べるの?

A:ランチは大学内に学食、ベーカリーなどがあるので、好きなものを選びます! 時間があるときは一度アパートに帰って自炊したり、周辺の飲食店に行ったりしています!



大平 裕翔さん
福島県
磐城桜が丘高等学校出身

ローソンもあるよ!



スキマ
時間

Q:スキマ時間は何をする?

A:スキマ時間は談話室で友人と勉強していることが多いです!
法学部には学生が会話をしながら作業できる談話室があるので、わからないところを相談し合いながら、勉強を進めています!



篠子 ちひろさん
長野県・上田高等学校出身

スキマ時間は人それぞれ!

休日の
過ごし方



清津峡(新潟県十日町市)を観光!

Q:休みの日は何をしていますの?

A:サークル活動をしたり、友達と遊びに出かけたりしています。
また、時間が空いたときは新潟の様々な観光地を巡り、学生ならではの時間を楽しんでいます!

アルバイト

白井 あやめさん
新潟県
長岡高等学校出身



社会経験ができて楽しい!

アルバイトをしている学生は多いです! 大学付近以外にも新潟駅周辺で働いている方もいます。仕事の適性を測ることができたり、マナーが身に着いたり、とても勉強になります。



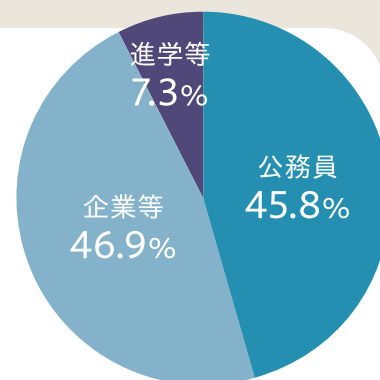
法学部でお待ちしております!

卒業後の進路

(2023年度～2025年度 企業・機関・組織名などは採用当時)

就職先の例

- 【公務員】 法務省、厚生労働省、総務省、国土交通省、防衛省、環境省、衆議院事務局、地方自治局、裁判所事務官、検察事務官、財務専門官、国税専門官、労働基準監督官
- 【地方公務員】 新潟県、新潟市、長岡市、新発田市、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、栃木県、群馬県、東京都、富山県、石川県、長野県、島根県、仙台市、鶴岡市、酒田市、会津若松市、特別区（東京23区）ほか全国各地の地方公共団体、全国の警察（警察官）
- 【建設業】 鹿島建設、ミサワリフォーム、熊谷組、東京都都市づくり公社、UTコンストラクション、清新ハウス、ネクスコ・メンテナンス新潟、廣瀬
- 【製造業】 コロナ、ブルボン、いすゞ自動車、住友電装、古河電機工業、デンカ、栃木ニコン、TOTO、柴田屋加工紙
- 【情報通信業】 日本放送協会（NHK）、新潟日报社、NST新潟総合テレビ、長野放送、富士通、東芝ITサービス、レノボ・ジャパン、リコージャパン、レバレジーズ、NTT東日本、エヌ・シー・ティ
- 【電気・ガス・水道】 東北電力、北陸電力、北陸ガス、北海道ガス、INPEXパイプライン
- 【運輸業】 日本航空、東日本旅客鉄道（JR東日本）、日本石油輸送、川崎鶴見臨港バス
- 【卸売・小売業】 ニトリ、ヤマダホールディングス、ヨドバシカメラ、クスリのアオキ、ファイネス、大田花き、成城石井、ヨークベニマル、アクシアルリテイリング、新潟三越伊勢丹
- 【金融・保険業】 第四北越銀行、日本銀行新潟支店、りそな銀行、七十七銀行、群馬銀行、富山銀行、SBI新生銀行、あおぞら銀行、新潟県信用農業協同組合連合会（JAバンク新潟県信連）、全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）、あいおいニッセイ同和損害保険、明治安田生命保険、大同生命保険、三井住友ファイナンス&リース株式会社、日本政策金融公庫
- 【不動産】 三井不動産リアルティ、三菱UFJ不動産販売、ANAファシリティーズ、ジェイアール東日本都市開発、ホーク・ワン、カチタス、日生不動産
- 【他】 産業技術総合研究所、森林研究・整備機構森林整備センター、東日本高速道路株式会社（NEXCO東日本）、国立病院機構、日本赤十字社東京都赤十字血液センター、ベネッセスタイルケア、ブシロード、日本中央競馬会、NSGグループ、信州大学、会計事務所、司法書士事務所



進学先の例

法科大学院（北海道大学、東北大学、慶應義塾大学、中央大学、早稲田大学、金沢大学、愛知大学、立命館大学、大阪大学、神戸大学）、新潟大学大学院総合学術研究科

※進路の詳細は、法学部サイトの卒業後の進路のページに掲載しています。



卒業生メッセージ

Message



藤澤 隆平 FUJISAWA Ryubei

大阪大学大学院法学研究科博士後期課程
法学・政治学専攻

2023年3月 飛び級にて、大阪大学法科大学院に進学

私は、新潟大学法学部で3年間学習した後、大阪大学大学院高等司法研究科(法科大学院)に進学しました。そして、同研究科在籍中に司法試験に合格し、司法修習生として法律実務を学んだ後、大阪大学大学院法学研究科の学生として法学の更なる学修を進めています。

法学部在籍中は、柔道部に所属して稽古に励むだけでなく、法学の学習にも励みました。法学の学習にあたっては、机上の学習のみならず、先生方や友人にご助力いただき、沢山の議論を交わしました。これらの学習が基礎となり、無事司法試験に合格することができました。更に、これら学習の中で得られた法的思考が私に大きな影響を与え、新潟大学法学部に入学した当初は想定していなかった法学研究者という進路を選択することとなりました。

新潟大学法学部には、皆様が望む将来に向けた精力的な活動に応えてくれる環境のみならず、皆様が想定していなかった選択肢を与えてくれる環境もあり、充実した学生生活を送ることができます。進学先等の選択にあたっては、現在の望みに過度に囚われず、より良い選択を皆様がなされることを願っております。



古澤 夏樹 FURUSAWA Natsuki

厚生労働省
2013年度卒業

初めまして。私は新潟大学法学部を卒業後、厚生労働省に入省しました。これまで主に労働行政を所掌する部署で、就職を目指す方や従業員を雇用する企業の方のための様々な政策を担当してきました。

日頃の業務は、多々ある課題の解決策を考えるということが基本となっており、一つの課題であっても、解決方法は複数考えられることが通常です。それぞれのメリット、デメリットを多角的に考え比較し、よりよい解決策を導き出すという力は、まさに法学部での学び・経験により培われたものと感じています。また、法令を根拠とした業務が多いため、法令を読むということに抵抗がないというのも法学部を選んで良かったと思えた点です。

大学時代は日々の講義について行くので精一杯でしたが、社会人として過ごす時間が長くなるに連れて、大学時代の学びや経験に感謝することが多いです。まだ将来を具体的にイメージできていない人もいるかと思いますが、新潟大学法学部でたくさんの先生や仲間から刺激をもらいながら、「考える力」を養い、将来に繋げていただけることを願っています。

入試情報

新潟大学法学部の入学者選抜は、入学者を狭い層や地域（国）に限ることなく、できる限り開放することによって、多様な学生を受入れることを基本方針として実施します。入学機会を拡大するため、【一般選抜】【学校推薦型選抜】【編入学試験】【私費外国人留学生特別選抜】【帰国生徒特別選抜】を行っています。



入試情報



授業料・
奨学金情報

入学方式の概要				国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	合計
一般選抜	前期 日程	85人	大学入学共通テスト	100	200		100	50	100	50	－	600
			個別学力検査	－	－	－	－	－	300	－	150	450
	後期 日程	35人	大学入学共通テスト	150	250		100	50	250	50	－	850
			個別学力検査	－	－	－	－	－	－	－	200	200
学校推薦型選抜		50人	出願書類と面接による総合判定									
編入学試験		5人	専門科目（法学）、外国語、面接、出願書類による総合判定									
私費外国人留学生特別選抜		若干人	小論文（日本語による）、面接（日本語による）、日本留学試験、出願書類による総合判定									
帰国生徒特別選抜		若干人	小論文（日本語による）、面接（日本語による）、出願書類による総合判定									

※ 大学入学共通テストの選択科目等については、募集要項をご確認ください。



今井 望喜 IMAI Miki
新潟県庁
2018年度卒業

「法は家庭に入らず」という法諺（法律に関することわざ）があります。これは、家庭内の問題については法が過剰に関与せず、自治的解決に委ねるべきであるという考え方です。実社会においては、親族相盗例など、一部の犯罪行為は法が関与しない運用がされている一方で、家庭内の虐待や暴力について、児童虐待防止法やDV防止法が制定されるなど、積極的に法が関与する運用もあります。

では、皆さんに質問です。法はどのような場合に、どこまで家庭に入るべきだと考えますか？そして、なぜそう判断しましたか？

新潟大学法学部では、それらを場合分けして、憲法の条文を当てはめながら、法律の趣旨や対立する主張と丁寧に向き合い、なぜそう判断するのかを実践的に学べました。大学での学びを通じて養った柔軟かつ論理的な考え方は、私自身の強みだと感じています。

法学は実学です。それは、法律の知識という意味でも、いわゆるリーガルマインドという意味でも、きっと皆さんの役に立ちます。皆さんが法律を学びながら様々な経験をし、自身がどうありたいかを意識しながら、素敵なキャンパスライフを送れるよう祈っております。



齋藤 辰弥 SAITO Tatsuyoshi
日本放送協会（NHK）
2024年度卒業

私は2025年にNHKに入局し、現在は記者として地域課題や事件・事故などの幅広い分野を取材しています。特に、猛暑と渇水に翻弄されるコメ農家の現状や交通事故の被害者遺族などを取材していて、社会の仕組みや課題を理解する力や人々との向き合う姿勢が大切だと感じています。その基盤を築いてくれたのが、新潟大学法学部での「より現場に即した」学びです。

特に印象に残っているのは、現場で活躍する講師を招く「賢人会議」。官公庁や企業などで勤務している方々の生の声を聞き、社会の最前線を肌で感じることができました。私が受講した際にはOBOGの方々も参加し、将来を考える上での大きな刺激となりました。また、地域政策協働センター（GPnet）では、市役所や地域の方々との活動を通して、地域と向き合う人々の思いやその人ならではの視点を知ることによって新たな刺激を受け、自分自身の視点で捉える姿勢が身につきました。

学生でありながら現場に即した質の高い教育を受けられるのが、新潟大学法学部の魅力です。社会の第一線で活躍したい人にとって、ここでの学びは大きな財産になるはずです。

Campus Map
五十嵐キャンパス



A photograph of the interior of a Japanese toy store, likely Bandai. The store has bright orange and white walls. In the foreground, a man in a dark jacket and jeans is looking at a display of toys. To his right, a woman in a white shirt and a man in a yellow shirt are standing near a display. The store is filled with various toys, including action figures and model kits, displayed on shelves and in cases. The floor is polished and reflects the overhead lights.



環境に優しい米ぬか油の
印刷インキを使用しています。